

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	18-	3
事業名	文化振興諸経費	
会計	一般	
款	10	
項	5	
目		2
施策	3 心豊かなまち	課名 社会教育課
	3-2 文化のかおるまちをつくる	係名 生涯学習係
	3-2-1 多様な文化・芸術活動の支援	
主要施策	①芸術・文化団体、指導者の育成	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化団体（文化協会他）	目的（対象がどのような状態になっているか）	文化団体の自主・自立を促し育成することで、東員町の文化振興を推進する。
事業内容	町が委託する公民館講座をはじめとする、各種文化振興に関する自主事業を実施する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年（目標）	
	1	公民館講座受講者数		245	218	人	↑	300
2								
3								
4								
5								
			平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B			6,321	8,816	8,907			
財源内訳	直接事業費A		6,321	5,780	5,871			
	うち一般財源		6,268	46	52			
人件費（千円）B			0	3,036	3,036			
内訳	一般職員（人・千円）			0	0.46	3036	0.46	3036
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	受講者の減少傾向がある。
②H30年度に実施した取り組み	時代のニーズに合うような講座の開設を実施した。（対象若年層他）	④今後の改善計画	時代のニーズに合うような講座の開設を進める。